

令和2年度

事業報告

令和3年

公益財団法人 五島美術館

◆事業報告

I. 庶務事項

1. 理事会および評議員会の開催

<第107回理事会>

平成31年度(令和元年度)事業報告ならびに収支決算等の承認、評議員候補者の選任ならびに推薦の承認、理事候補者の選任ならびに推薦の承認、監事候補者の選任ならびに推薦の承認、諮問委員の選任の承認、責任限定契約の締結の承認、定時評議員会の招集の承認の審議事項について、理事全員の同意ならびに監事全員の異議のない旨の確認を得たので、令和2年6月5日付にて、第107回理事会として同案を可決した。

審議事項 平成31年度(令和元年度)事業報告ならびに収支決算等の承認について
評議員候補者の選任ならびに推薦の承認について
理事候補者の選任ならびに推薦の承認について
監事候補者の選任ならびに推薦の承認について
諮問委員の選任の承認について
責任限定契約の締結の承認について
定時評議員会の招集の承認について

<第101回評議員会>

平成31年度(令和元年度)事業報告ならびに収支決算等の承認、評議員の選任の承認、理事の選任の承認、監事の選任の承認、理事の報酬の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和2年6月23日付にて、第101回評議員会として同案を可決した。

審議事項 平成31年度(令和元年度)事業報告ならびに収支決算等の承認について
評議員の選任の承認について
理事の選任の承認について
監事の選任の承認について
理事の報酬の承認について

<第102回評議員会>

評議員会長の選出の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和2年6月30日付にて、第102回評議員会として同案を可決した。

審議事項 評議員会長の選出の承認について

<第108回理事会>

代表理事(理事長)の選定の承認、業務執行理事(常務理事)の選定の承認の審議事項について、理事全員の同意および監事全員の異議のない旨の確認を得たので、令和2年6月30日付にて、第108回理事会として同案を可決した。

審議事項 代表理事(理事長)の選定の承認について
業務執行理事(常務理事)の選定の承認について

<第 109 回理事会>

令和 2 年 7 月 28 日午前 11 時より第 109 回理事会を五島美術館別館講堂にて開催し、下記の事項について報告を行い、承認された。

- 報告事項 評議員・理事・監事の就任について
- 令和 2 年度事業計画書の見直しについて
- 職務の執行状況について
- その他特記事項

<第 110 回理事会>

特定資産の取り崩しの承認、資金運用規程の制定の承認の審議事項について理事全員の同意ならびに監事全員の異議のない旨の確認を得たので、令和 2 年 12 月 5 日付にて、第 110 回理事会として同案を可決した。

- 審議事項 特定資産の取り崩しの承認について
- 資金運用規程の制定の承認について

<第 111 回理事会>

令和 3 年 3 月 16 日午前 11 時より第 111 回理事会を五島美術館別館講堂にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

- 第 1 号議案 基本財産の一部取り崩し処分の提案について
- 第 2 号議案 令和 3 年度事業計画書ならびに収支予算書等について
- 第 3 号議案 評議員会の開催および招集について
- 報告事項(1) 職務の執行状況について
- 報告事項(2) 資金運用規程の一部変更について

<第 103 回評議員会>

基本財産の一部取り崩し処分の承認、令和 3 年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和 3 年 3 月 26 日付にて第 103 回評議員会として同案を可決した。

- 審議事項 基本財産の一部取り崩し処分の承認について
- 令和 3 年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認について
- 報告事項 資金運用規程の制定について

2. 官公庁への届出

- ・令和 2 年 6 月 30 日 平成 31 年度(令和元年度)事業報告ならびに収支決算等の提出
.....内閣府
- ・令和 2 年 8 月 6 日 変更の届出(評議員、理事、監事各 1 名の退任と就任).....内閣府
- ・令和 3 年 3 月 31 日 令和 3 年度事業計画書ならびに収支予算書等の提出.....内閣府

3. 寄附受領等

< 寄附金の受領 >

寄附金受領総額	150,000,000 円
令和 2 年 6 月 30 日 東急株式会社	105,000,000 円 (全額、一般寄付金＝一般正味財産として受け入れ)
令和 2 年 11 月 30 日 東急株式会社	45,000,000 円 (全額、一般寄付金＝一般正味財産として受け入れ)

< 助成金の受領 >

令和 2 年 9 月 25 日 「雇用調整助成金」を申請して受領	340,596 円 (経常外収益として計上)
令和 2 年 9 月 28 日 「緊急雇用安定助成金」を申請して受領	690,590 円 (経常外収益として計上)
令和 3 年 3 月 1 日 「文化施設の感染症防止対策事業補助金」を申請して受領	257,000 円 (経常外収益として計上)

< 学術資料の受贈 >

令和 3 年 3 月 27 日 名所歌枕関連資料(遊戯札) 昭和時代 794 枚	
評価額 10,000 円 (大東急記念文庫の基本財産・古典籍に計上)	
寄贈者 久邇邦昭氏	

4. 設備投資等

設備投資等総額	2,805,220 円 (消費税込) ※一部、経費処理分を含む
令和 2 年 4 月 24 日 見晴台庭園整備	
工事金額	508,200 円 (消費税込) ※経費処理
発注先	三栄造園株式会社
令和 2 年 7 月 22 日 登録有形文化財プレート設置工事	
工事金額	1,069,200 円 (消費税込)
発注先	株式会社東装スペース
令和 2 年 9 月 28 日 収蔵庫前室空調設置工事	
工事金額	790,020 円 (消費税込)
発注先	清水建設株式会社
令和 3 年 2 月 13 日 ウイルスガードウォール導入	
工事金額	437,800 円 (消費税込)
発注先	進和テック株式会社

5. 文化財の修復等

令和3年3月30日 重要文化財「即休契了墨蹟 餞別偈」

修復費用総額 3,573,325 円 (令和2年度分)

※国(文化庁)と東京都から補助金 総額 3,206,000 円受領

[内訳] 国(文化庁) 2,322,000 円 / 東京都 884,000 円

※所有者負担額 367,325 円

6. 特定資産の取り崩し

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による公益事業収益の減収に伴う運転資金の不足額を補うため、資産管理規程第9条5項の定めにより、第110回理事会の承認に基づき特定資産の一部取り崩しを実施した。

(稟議番号・局2-48号、令和3年3月27日付にて代表理事＝理事長決裁)

取り崩した金額 30,000,000 円

7. 諸制度の整備・改定等

令和2年10月1日 「印章取扱規程」の制定

令和2年12月5日 「資金運用規程」の制定

(令和2年12月15日付にて一部変更)

8. 内閣府立入検査

令和2年10月22日 内閣府立入検査実施(10時～15時30分)

平成24年4月1日、公益財団法人移行後2回目(前回は平成28年1月15日)の内閣府による立入検査が4年9カ月ぶりに実施された。内閣府の担当官2名は下記のとおり。

・内閣府大臣官房公益法人行政担当室 参事官補佐

(併)公益認定等委員会事務局 上席審査監督調査官 千葉文香氏

・内閣府大臣官房公益法人行政担当室 室員

(併)公益認定等委員会事務局 政策企画調査官 倉持俊雄氏

検査後、業務改善に向けた指摘事項は以下のとおり。

・財産目録における美術品、古典籍の不可欠特定財産の記載方法の是正

・評議員会議事録における役員、評議員選任時の手続きについての記載方法の是正

・資金運用規程の新規制定

9. 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策

< 臨時休館の実施 >

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策に協力して、令和2年3月2日から五島美術館では「臨時休館」を実施。

令和2年度については期初(4月1日)以降も「臨時休館」を継続し、6月26日まで「臨時休館」を実施した。

この間に、文化庁の指導の下、公益財団法人日本博物館協会が策定した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準拠した五島美術館としての「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策」を講じた上で、令和2年6月27日から展示公開を再開した。

同時にホームページ上に「五島美術館へご来場される皆様へのお知らせとお願い」(新型コロナウイルス感染症関連)の文書を掲出公開した。

< イベントの中止・変更等 >

展示・公開の再開後も、主催するイベントに関しては「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準拠した五島美術館としての「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策」に沿って、開催の見合わせ、会場収容人数の制限(定員の50%以下)、参加者の氏名・連絡先の把握など下記の対応を実施した。

- ・ギャラリートーク 会場収容人数の制限(定員の50%以下)
参加者の氏名・連絡先の把握
(一部については開催見合わせ)
- ・茶会 開催見合わせ
- ・陶芸講座 開催見合わせ
- ・月例美術講座 会場収容人数の制限(定員の50%以下)
参加者の氏名・連絡先の把握
開催時間の短縮(90分→60分)
(一部については開催見合わせ)
- ・こども美術講座 開催見合わせ
- ・コンサート 開催見合わせ
- ・茶室特別公開 開催見合わせ

以 上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館(公益目的事業①)

1. 展示事業

1-1. 入館者数

							*単位は人
有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均	
1 [開館 60 周年記念名品展Ⅰ]筆跡の雅び—古筆・古写本・近代書跡—〈4月4日[土]—5月10日[日]〉 中止*							
2 [開館 60 周年記念名品展Ⅱ]絵画の彩り—歌仙絵・水墨画・日本画—〈5月16日[土]—6月21日[日]〉 中止*							
3 [開館 60 周年記念名品展Ⅲ]祈りの造形—古写経・墨跡・古版本—〈6月27日[土]—8月2日[日]〉							
1,520	115	1,635	88	1,723	32	54	
4 [開館 60 周年記念名品展Ⅳ]至高の陶芸—日本・中国・朝鮮—〈8月29日[土]—10月25日[日]〉							
6,039	409	6,448	190	6,638	50	133	
5 [開館 60 周年記念名品展Ⅴ]平安の書画—古筆・絵巻・歌仙絵—* 〈11月3日[火・祝]—11月29日[日]〉							
7,406	782	8,188	325	8,513	24	355	
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈12月5日[土]—令和3年2月14日[日]〉							
4,469	372	4,841	440	5,281	53	100	
7 [館蔵]中国の陶芸展〈2月20日[土]—3月28日[日]〉							
2,746	254	3,000	196	3,196	32	100	
合計	22,180	1,932	24,112	1,239	25,351	191	133

※新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のための臨時休館(期間:令和2年3月2日—6月26日)に伴い、予定していた1および2の展覧会の開催を中止した。

※当初予定の[開館 60 周年記念特別展]国宝 源氏物語絵巻(会期:11月3日—11月29日)は中止し、5の展覧会に変更開催した。

1-2. 開館 60 周年記念名品展

開館 60 周年を記念し、代表的コレクションをジャンル別に期間を分け展示を行った。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、前期 2 展覧会の開催を中止した。また、予定していた[開館 60 周年記念特別展]国宝 源氏物語絵巻(会期:11月3日—11月29日)は開催を中止し、代わりに同日程で[開館 60 周年記念名品展Ⅴ]平安の書画—古筆・絵巻・歌仙絵—を開催した。

[開館 60 周年記念名品展Ⅰ]筆跡の雅び—古筆・古写本・近代書跡—

・期間=令和2年4月4日—5月10日 ※中止

[開館 60 周年記念名品展Ⅱ]絵画の彩り—歌仙絵・水墨画・日本画—

・期間=5月16日—6月21日 ※中止

[開館 60 周年記念名品展Ⅲ]祈りの造形—古写経・墨跡・古版本—

・期間=6月27日[土]—8月2日[日]

[開館 60 周年記念名品展Ⅳ]至高の陶芸—日本・中国・朝鮮—

・期間=8月29日[土]—10月25日[日]

[開館 60 周年記念名品展 V]平安の書画—古筆・絵巻・歌仙絵—

・期間＝11 月 3 日[火・祝]—11 月 29 日[日]

・特別内覧会(五島美術館主催)＝令和 2 年 11 月 2 日[月]……………出席者 123 名

1-3. 付帯事業

展示事業に関連して、美術館と展示・収蔵品を全国の不特定多数の方に紹介する効果がある東急グループの「五島美術館名品集カレンダー」の製作・監修を行った。

また「源氏物語絵巻」をはじめ展示・収蔵品に因んだオリジナルグッズなどの製作・監修、館内ミュージアムショップでの販売も実施した。

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 調査・研究

・特別展等に際して、館外所蔵および収蔵作品の調査を行った。

・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。

・収蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。

・以上の成果の一部については、展覧会図録および研究紀要にて報告。

2-2. 美術品の保存・補修

(1) 重要文化財「即休契了墨蹟 餞別偈」一幅の修理事業を行った(2 ヶ年計画 2 年度)。令和 2 年度の修理費は 3,573,325 円であるが、国(文化庁)から 2,322,000 円、東京都から 884,000 円の補助を受けた。

(2) 経年劣化した「祥瑞胴メ茶碗」、「金彩文字天目」の御物袋を修理。

(3) 作品の展示及び貸出に際し、「伯庵茶碗 銘 朽木」「黄瀬戸平茶碗 銘 柳かげ」「重要文化財 古伊賀水指 銘 破袋」「重要文化財 五彩透彫水注(金欄手)」「瀬戸尻膨茶入 銘 一本」「唐物文琳茶入 銘 吹上」「重要文化財 鼠志野茶碗 銘 峯紅葉」「五彩人物文水注(金欄手)」「白釉黒花牡丹文梅瓶」に付属する包み裂、箱紐を修理した。

(4) 収蔵庫の保存環境改善のため総合的な除塵防黴施工(IPM)を実施した。

2-3. 出版物

(1) 『時代の美—五島美術館・大東急記念文庫の精華—第一部 奈良・平安編』(第二刷)

・判型＝A4 判 ・発行日＝令和 2 年 10 月 8 日(平成 24 年 10 月 17 日初版発行)

・編集＝五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部

・発行＝公益財団法人五島美術館

・頁数＝64 頁(カラー64 頁、図版 68 点所収)

(2) 『五島美術館研究紀要』第 9 号

・判型＝A4 判 ・発行日＝令和 3 年 3 月 31 日

・編集＝五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部

・発行＝公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

- ・宮崎県立西都原考古博物館……………国宝「金銅馬具類」／計1件
「国宝馬具とその時代」(期間=令和2年10月3日～12月6日)
- ・九州歴史資料館……………「春慶胴ノ建水」／計1件
「福岡の至宝に見る信仰と美」(期間=令和2年10月6日～11月29日)
- ・大阪市立美術館……………重要文化財「迦陵頻伽紋葵花形鏡」他／計3件
「天平礼賛」(期間=令和2年10月27日～12月13日)
- ・徳川美術館・名古屋市蓬左文庫……………国宝「紫式部日記絵巻 五島本第一段」他／計9件
「読み継がれた源氏物語」(期間=令和2年11月8日～12月13日)

計 4ヶ所 14件

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館収蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(令和2年度は135件のべ201点)。

2-6. ホームページ等の運営

五島美術館の公式ホームページ(URL=https://www.gotoh-museum.or.jp/)のオールリニューアルを行った。

- ・サーバー契約=イツ・コミュニケーションズ株式会社
- ・サイトデザイン=内海真由美 ・サイト制作=株式会社 STK

3. 普及事業

3-1. 普及事業(当館主催)

(1) ギャラリートーク(展示解説)―入館者を対象にして実施

- ・[開館60周年記念名品展Ⅳ]至高の陶芸―日本・中国・朝鮮―
 - 「日本陶磁について」9月2日(別館講堂)……………48名
 - 「中国陶磁の名品」9月9日(別館講堂)……………50名
 - 「高麗・朝鮮陶磁について」10月2日(別館講堂)……………77名
 - 「更紗を楽しむ」10月8日(別館講堂)……………69名
- ・[開館60周年記念名品展Ⅴ]平安の書画―古筆・絵巻・歌仙絵―
 - 「絵巻・歌仙絵の名品」11月11日(別館講堂)……………78名
 - 「平安古筆の魅力」11月19日(別館講堂)……………79名
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
 - 「五島慶太翁と茶の湯」12月9日……………24名
 - 「茶道具取合せ展について」12月16日……………61名

※新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、臨時休館期間含む令和2年4～8月および令和3年1～3月に予定していたギャラリートーク(計13回)は全て中止した。

計3回の展示で8回実施 [のべ]486名参加

(2) 青少年向け普及講座

①こども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施
令和2年度は開催を中止した。

②小学校への出張講義

・世田谷区立船橋小学校

令和3年 2月25日「古美術鑑賞教室」……………6年生 107名

③中高生向け講義

令和2年度は開催を中止した。

(3) 団体見学および団体説明会

館内入場者数制限の都合上、令和2年度は団体見学を休止した。

(4) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

令和2年度は「クアルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会」「長唄演奏会—和のこころを聴く」の開催を中止した。

(5) 茶室特別公開—入館者を対象にして実施

令和2年度は開催を中止した。

(6) 特別閲覧

美術館、博物館、大学等の研究者を対象として特別閲覧に対応した。

- ・遠藤 啓介氏 (1名:令和2年7月31日)……………春慶胴[△]建水 計1件
- ・玉井 あや氏 (1名:令和2年8月22日)……………瀬戸肩衝茶入 銘 月迫 付属仕覆他 計2件
- ・松崎 裕子氏 (1名:令和2年9月26日)……………加守田章二作 灰釉花器他 計4件
- ・増記 隆介氏 (1名:令和2年10月13日)……………重要文化財 駿牛図断簡 計1件
- ・内田 征志氏 (1名:令和2年12月13日)
……………王羲之筆 宋拓 黄庭経 心太平本(宇野雪村コレクション) 計1件
- ・田畑 潤氏 (1名:令和2年12月17日)……………緑釉牡丹文鳳首瓶 乾瓦窯他 計5件
- ・渡邊 浩貴氏他(2名:令和3年3月11日)……………重要美術品 雪嶺斎図 計1件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(令和3年3月31日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効[※])

- ・会員数=392名
- ・年会費=4,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。

- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料、資料代1回につき100円程度必要)。※日程変更
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。※中止
- ・展覧会や催物の案内を発送。

※臨時休館に伴い、休館期間に該当する会員450名に対して半年間の有効期限の延長を行った。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1~3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の収蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

※令和2年度は、臨時休館期間を含む4~7月に予定していた全ての講座を中止し、9月より要項と日程を一部変更して開催を再開した。なお、開催にあたっては定員を80名とし、講座時間を短縮、参加者には氏名・連絡先を記入するための受講カードを配布するなどの感染拡大予防対策を講じた。

計16回実施 聴講者数 [のべ]717名

・書跡鑑賞シリーズXV「はじめての日本書道史」(全10回)

担当=五島美術館学芸部 佐々木佑記

第1回	令和2年	9月5日[土]	「日本書道史ことはじめ」……………	聴講者64名
第2回		10月3日[土]	「漢字の伝来と中国書跡の受容—古墳・飛鳥・奈良時代」……………	62名
第3回		12月5日[土]	「古写経の世界—奈良・平安時代」……………	48名
第4回	令和3年	1月9日[土]	「三筆・三蹟—平安時代」……………	53名
第5回		2月6日[土]	「和歌と古筆①—平安時代」……………	72名
第6回		3月6日[土]	「和歌と古筆②—平安・鎌倉時代」……………	68名

*第7~10回は、令和3年度実施予定。

・陶磁鑑賞シリーズVIII「名品を深読みする」(全6回)

担当=五島美術館学芸部 田代裕一郎(第1・3・5回)・菅沢そわか(第2・4・6回)

第1回	令和2年	9月12日[土]	「白磁壺—「満月」にたとえられた朝鮮の壺」……………	聴講者50名
第2回		10月10日[土]	「猿投灰釉長頸瓶—知られざる日本陶磁の源流」……………	30名
第3回		12月12日[土]	「鼠志野茶碗 銘 峯紅葉—桃山陶、近代における注目」……………	58名
第4回	令和3年	1月16日[土]	「染付辻堂香合—番付最高位の名品と日本好みの美」……………	32名
第5回		2月13日[土]	「色絵山水文大鉢—日本初の色絵磁器「古九谷」」……………	42名
第6回		3月20日[土]	「青磁鳳凰耳瓶—世界を魅了した青磁と唐物賞玩」……………	41名

・古典籍鑑賞シリーズⅡ「江戸の詩歌軸を読む」(全4回)

担当＝大東急記念文庫学芸部 長田和也

第1回	令和2年	12月19日[土]	「和学者①—契沖・春満・真淵・宣長」……聴講者26名
第2回	令和3年	1月23日[土]	「和学者②—江戸時代後期の和学者」……………17名
第3回		2月20日[土]	「漢学者①—江戸の漢学者」……………29名
第4回		3月27日[土]	「漢学者②—江戸以外の漢学者」……………25名

(2) 陶芸講座—美の友会会員を対象にして実施 *指導＝弘法窯スタッフ

令和2年度は開催を中止した。

3-2-2. 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から翌年3月31日まで有効)

・会員数＝1,500名

・年会費＝6,000円

※令和2年度の年会費は原則として令和3年度分に繰り越しとした。

・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。

・特別展の講演会を無料で聴講可能。

・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。

※令和2年度は秋季茶会および春季茶会の開催を中止した。

・展覧会や催物の案内を発送。

・「美の友会月例美術講座」を聴講可能(聴講料・資料代1回につき600円程度必要)。

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

・「秋の三館 美をめぐる」三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 三館合同キャンペーン

令和2年度は企画を中止した。

・Bunkamuraとのタイアップ企画

令和2年度は企画を中止した。

(2) 近隣館との連携事業

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携

静嘉堂文庫美術館との相互割引を実施(平成28年8月27日より実施)。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で静嘉堂文庫美術館の正規入館料から200円を割引く。令和2年度、当館における割引利用入館者は106名。

・世田谷美術館 相互割引提携

世田谷美術館との相互割引を実施(平成29年4月1日より実施)。世田谷美術館(常時)の企画展の有料観覧券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料を団体料金(原則200円引き)に割引く。令和2年度、当館における割引利用入館者は18名。

(3) 東急グループとの連携事業

- ・開館 60 周年記念名品展「特別鑑賞会」(東急グループ主催)
令和 2 年 11 月 2 日 特別展示他(別館講堂・本館展示室)……参加者 231 名(うち招待者 132 名)
- ・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別貸切鑑賞会
令和 2 年度は開催を中止した。
- ・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別鑑賞デー
令和 2 年度は開催を中止した。
- ・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」メンバーズマガジン『Fino』プレゼント企画
 - ①『Fino』6 月号／オリジナルクリアファイル 2 種セット(抽選 100 名)
 - ②『Fino』11 月号／[開館 60 周年記念名品展 V]平安の書画 入館招待券(抽選 50 組 100 名)
 - ③『Fino』12 月号／2021 年カレンダー「五島美術館名品集」(抽選 150 名)
- ・東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム〈美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！〉」
令和 2 年度は開催しなかった。
- ・オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ」
令和 2 年度は開催しなかった。

(4) 大学との連携事業

- ・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、共立女子大学との連携事業を実施。令和 2 年度は、昨年度に引き続き「藤に馬 橋本関雪筆」屏風収納袋の新規作成検討・制作を行った。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第 1 条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、新型コロナウイルス感染予防対策をとりつつ指導を行った(実習生 3 大学 3 名)。

- ・期間＝令和 2 年 10 月 7 日～18 日 計 10 日間(12 日・13 日休)
- ・実習生＝清泉女子大学 文学部 日本語日本文学科…………… 1 名
学習院大学 文学部 日本語日本史学科…………… 1 名
日本女子大学 文学部史学科…………… 1 名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

美術品写真撮影、美術品修理、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館理事会(令和 2 年 7 月 28 日他)、当館主催「ギャラリートーク」(令和 2 年 9 月 2 日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(令和 2 年 9 月より毎月 1～3 回)、東急グループ主催「特別鑑賞会」(令和 2 年 11 月 2 日)などに使用。

(3) 第二講堂(見晴荘)

令和2年度は当館主催行事としての使用は無く、一般への貸出も制限した。

(4) 茶室(古経楼、富士見亭)

令和2年度は当館主催行事としての使用は無く、一般への貸出も中止した。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

- (1) 東京の美術館・博物館等共通入館券(ぐるっとパス)2019 実行委員会第2回総会への参加(館長、令和2年7月22日、東京都写真美術館)、東京の美術館・博物館等共通入館券(ぐるっとパス)2021 実行委員会第1総会に副委員長として館長が出席(令和2年12月10日、東京都江戸東京博物館)。
- (2) 私立美術館会議幹事会(館長他1名、令和2年8月6日、大倉集古館 および 令和3年2月26日、ZOOMによるリモート開催)への参加。
- (3) 第68回 全国博物館大会 神奈川(横浜)大会に監事として館長が出席(令和2年11月25～26日、横浜市開港記念会館)。
- (4) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が理事会に出席(令和3年3月10日、黒田記念館〈ZOOM 併用〉)。
- (5) 公益財団法人東京オペラシティ文化財団の評議員として館長が評議員会に出席(令和3年3月12日、東京オペラシティ〈ZOOM 併用〉)。
- (6) 玉川大学の依頼により、学芸員を東洋美術史の非常勤講師として派遣。
- (7) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (8) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。
- (9) 獨協大学の依頼により、学芸員を国際教養学部の非常勤講師として派遣。
- (10) 静嘉堂文庫美術館の依頼により、同館へ染織調査指導として学芸員を派遣(令和2年7月31日、9月11日)。
- (11) 九州国立博物館の依頼により、染織素材調査にかかる指導助言のため学芸員を派遣(令和2年12月8日～9日)。
- (12) 九州大学人文学国際研究センターの依頼により、オンライン講座の講師として学芸員を出講(令和3年1月23日)。
- (13) 東京国立博物館の依頼により、寄贈文化財の価格評価に学芸員を派遣(令和3年3月12日)。

(14) 第 67 回日本伝統工芸展(全国 11 都市にて開催、会期=令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月)副賞に協賛。

(15) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。

4-2. 学会・研究会

(1) 韓国中世考古学会秋季学術大会(令和 2 年 9 月 26 日、オンライン開催)、東京文化財研究所文化財情報資料部研究会(令和 3 年 1 月 28 日)にて研究成果を発表。

(2) 美術史学会、東洋陶磁学会、茶の湯文化学会、韓国美術史学会(以上大会・例会および研究会)に出席(オンライン開催を含む)。

(3) 源氏絵データベース研究会、茶書研究会、書芸術研究会、朝鮮史研究会に参加(オンライン開催)。

(4) 九州国立博物館 IPM オンライン相談会(令和 2 年 10 月 23 日)、一般社団法人全国美術館会議第 35 回学芸員研修会「アフターコロナに向けて～美術館運営支援を考える」(令和 3 年 3 月 5 日、オンライン開催)、美術史学会美術館博物館東西合同シンポジウム「コロナ禍と美術館・博物館」(令和 3 年 3 月 27 日、オンライン開催)に参加。

[2] 大東急記念文庫(公益目的事業②)

1. 閲覧事業

1-1. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		0	0	3	27	4	26	22	24	17	24	20	24	191日
閲覧者数		0	0	0	9	1	4	7	2	3	1	1	1	29人
閲覧図書	国書	0	0	0	15	0	10	19	1	14	1	0	2	62点
	漢籍	0	0	0	0	0	0	10	2	1	0	0	0	13点
	仏書	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	0	5点
	その他	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5点
計		0	0	0	17	5	12	29	3	15	1	1	2	85点

※新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、五島美術館の臨時休館期間(令和2年3月2日—6月26日)は閲覧を休止した。

(2) 団体閲覧

・令和2年11月8日 慶應義塾大学大学院生ほか(52点/於集会室)……………8名

1-2. 展示

(1) 他所への貸出

- ・大阪市立美術館……………重要文化財「過去現在絵因果経 卷第四」/計1件
特別展「天平礼賛」(期間=令和2年10月27日~12月13日)
- ・京都国立博物館……………重要文化財「唐大和上東征伝」・「菩薩戒本持犯要記」/計2件
特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」(期間=令和3年3月27日~5月16日)

計 2ヶ所 3件

(2) 五島美術館への出陳

- ・[開館60周年記念名品展Ⅲ]祈りの造形—古写経・墨跡・古版本—
……………重要文化財「註楞伽経 卷第七」・「弁証論」・「法華経義疏 法隆寺版」他/計13件
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
……………「茶室起絵図」/計1件

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 図書調査

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の観点から、地方調査は中止となった。

2-2. 図書収集

(1) 閲覧参考資料

「人物叢書」等を継続購入中である。

(2) 出版文化史参考資料

令和2年度は購入しなかった。

(3) 古典籍参考資料

令和2年度は購入しなかった。

2-3. 研究発表

令和元年度新収の「言語遊戯関係近世資料」について、『かがみ』第51号に解説・目録を掲載した。

2-4. 図書保存

(1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行った。

(2) 収蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。

(3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期し、予防策としてIPMを実施した。

(4) 不慮の災害に備え、写真撮影による副本作りを行った。令和2年度は、「大般若波羅蜜多経」「妙法蓮華経寿量品」等を撮影した。

2-5. 図書修理

新収資料の帙箱を新装した。

2-6. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌『かがみ』第51号(令和3年3月31日発行)
- ・『典籍逍遥一大東急記念文庫の名品』(平成19年3月31日発行)
- ・『狩谷棧斎と経籍訪古志一大東急記念文庫所蔵の漢籍から』(令和元年6月10日発行)
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)——継続刊行中
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全18巻別巻1巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版『江戸文学総瞰』『物語文学総瞰』(丸善雄松堂)

2-7. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録元亨版 翻刻および総索引』1冊(佐々木勇氏)
- ・『皇室制度史料 儀制 踐祚・即位一』(宮内庁書陵部)
- ・『柳川市の歴史7 幕末維新と自由民権運動』1冊(柳川市)
- ・『敦煌秘笈 景教経典四種』『磧砂版大藏経目録 第九冊』各1冊(杏雨書屋)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

・各種団体

小原流、亀岡市文化資料館、国立国会図書館、西教寺、延岡市内藤記念館、福知山市、山代温泉観光協会等

・出版社等

岩波書店、NHKエデュケーショナル、KADOKAWA、國華社、秀学社、新学社、正進社、吉川弘文館等

・個人

研究者等 5 名

2-8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、他機関との共同調査等を行わなかった。

以 上

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目				当年度	前年度	増 減
I 資産の部						
1. 流動資産						
			現金預金	30,460,835	28,089,374	2,371,461
			未払金	4,559,611	3,618,858	940,753
			前払金	2,637,595	4,004,200	△ 1,366,605
			棚卸資産	27,315,578	28,405,790	△ 1,090,212
			有価証券	1,864,596	1,864,596	0
			仮払金	595,700	14,294	581,406
			流動資産合計	67,433,915	65,997,112	1,436,803
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
			土地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
			建物	1,153,091,561	1,222,137,846	△ 69,046,285
			立木	1,000,000	1,000,000	0
			美術品	1,139,435,206	1,139,435,206	0
			古典籍	133,700,570	133,690,570	10,000
			什器備品	980,002	1,568,002	△ 588,000
			投資有価証券	728,359,057	728,359,057	0
			基本財産合計	4,296,251,964	4,365,876,249	△ 69,624,285
(2) 特定資産						
			積立預金	66,500,000	96,500,000	△ 30,000,000
			特定資産合計	66,500,000	96,500,000	△ 30,000,000
(3) その他固定資産						
			美術品	194,959,325	194,959,325	0
			古典籍	33,000	33,000	0
			什器備品	7,395,338	7,677,619	△ 282,281
			ソフトウェア	3,130,115	4,606,496	△ 1,476,381
			保証金	50,000	50,000	0
			その他固定資産合計	205,567,778	207,326,440	△ 1,758,662
			固定資産合計	4,568,319,742	4,669,702,689	△ 101,382,947
			資産合計	4,635,753,657	4,735,699,801	△ 99,946,144
II 負債の部						
1. 流動負債						
			未払金	10,788,723	8,748,434	2,040,289
			前受金	7,620,000	7,470,000	150,000
			預り金	1,993,276	1,931,515	61,761
			流動負債合計	20,401,999	18,149,949	2,252,050
2. 固定負債						
			退職給付引当金	4,230,625	3,799,059	431,566
			固定負債合計	4,230,625	3,799,059	431,566
			負債合計	24,632,624	21,949,008	2,683,616
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
			指定正味財産合計	3,633,412,905	3,732,449,190	△ 99,036,285
			(うち基本財産への充当額)	(3,566,912,905)	(3,635,949,190)	(△ 69,036,285)
			(うち特定資産への充当額)	(66,500,000)	(96,500,000)	(△ 30,000,000)
2. 一般正味財産						
			(うち基本財産への充当額)	977,708,128	981,301,603	△ 3,593,475
			(うち基本財産への充当額)	(729,339,059)	(729,927,059)	(△ 588,000)
			正味財産合計	4,611,121,033	4,713,750,793	△ 102,629,760
			負債及び正味財産合計	4,635,753,657	4,735,699,801	△ 99,946,144

財産目録

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 預金 未収金 前払金 棚卸資産 有価証券 仮払金	手元保管	運転資金	2,658,833
	普通預金	運転資金	27,427,645
	みずほ上野毛①		26,422,521
	みずほ上野毛②		59,359
	みずほ上野毛③		608,435
	三菱UFJ玉川①		337,330
	定期預金	運転資金	374,357
	三菱UFJ定期		374,357
		売掛金	4,559,611
		次年度展覧会準備費用	2,637,595
	図録・ショップ商品	27,315,578	
		1,864,596	
		595,700	
流動資産合計			67,433,915
(固定資産)			
基本財産			
土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,296,251,964
土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,139,685,568
建物			1,153,091,561
建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・陶芸教室	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,153,091,561
立木			1,000,000
立木(指定)	樹木・石造物	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,000,000
美術品			1,139,435,206
美術品(指定)	美術工芸品 2,615件 (定款上の不可欠特定財産)	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,134,221,000
美術品(指定)	美術工芸品 4件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	5,214,206
古典籍			133,700,570
古典籍(指定)	古典籍 21,835冊 (定款上の不可欠特定財産)	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	131,705,570
古典籍(指定)	古典籍 291冊	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,995,000
什器備品			980,002
什器備品(一般)	展示用備品・収蔵棚	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	980,002
投資有価証券			728,359,057
投資有価証券(一般)	国債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を公益目的事業の財源としている。	728,359,057
特定資産			66,500,000
積立預金			66,500,000
積立預金(指定)	三菱UFJ・みずほ	公的目的事業及び管理運営のための資産である。	66,500,000
その他固定資産			205,567,778
美術品	美術工芸品 2,160件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	194,959,325
古典籍	古典籍 1冊	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	33,000
什器備品	パソコン・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	7,395,338
ソフトウェア	源氏物語絵巻ビデオ・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	3,130,115
保証金			50,000
固定資産合計			4,568,319,742
資産合計			4,635,753,657
(流動負債)			
未払金		売掛金	10,788,723
前受金		次年度茶の友会会費	7,620,000
預り金		社会保険料	1,993,276
流動負債合計			20,401,999
(固定負債)			
退職給付引当金			4,230,625
固定負債合計			4,230,625
負債合計			24,632,624
正味財産			4,611,121,033

予算対比正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,530,000]	[6,725,790]	[4,804,210]
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
公益事業収益	[155,074,000]	[64,806,346]	[90,267,654]
受取補助金	[2,849,000]	[3,206,000]	[△ 357,000]
受取寄付金	[213,868,000]	[249,046,285]	[△ 35,178,285]
雑収	[70,000]	[369,092]	[△ 299,092]
経常収益計	383,401,000	324,153,513	59,247,487
(2) 経常費用			
事業費	[365,059,000]	[296,496,854]	[68,562,146]
管理費	[29,115,000]	[32,538,320]	[△ 3,423,320]
経常費用計	394,174,000	329,035,174	65,138,826
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,773,000	△ 4,881,661	△ 5,891,339
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,773,000	△ 4,881,661	△ 5,891,339
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収	[0]	[1,288,186]	[△ 1,288,186]
経常外収益計	0	1,288,186	△ 1,288,186
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,288,186	△ 1,288,186
当期一般正味財産増減額	△ 10,773,000	△ 3,593,475	△ 7,179,525
一般正味財産期首残高	981,301,603	981,301,603	0
一般正味財産期末残高	970,528,603	977,708,128	△ 7,179,525
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[6,000,000]	[10,000]	[5,990,000]
一般正味財産への振替額	[△ 69,868,000]	[△ 99,046,285]	[29,178,285]
当期指定正味財産増減額	△ 63,868,000	△ 99,036,285	35,168,285
指定正味財産期首残高	3,732,449,190	3,732,449,190	0
指定正味財産期末残高	3,668,581,190	3,633,412,905	35,168,285
III 正味財産期末残高	4,639,109,793	4,611,121,033	27,988,760

予算対比正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,530,000]	[6,725,790]	[4,804,210]
基本財産受取利息	9,426,000	4,785,787	4,640,213
基本財産受取配当	2,104,000	1,940,003	163,997
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
特定資産受取利息	10,000	0	10,000
公益事業収益	[155,074,000]	[64,806,346]	[90,267,654]
展示事業収益	69,890,000	20,104,432	49,785,568
調査研究事業収益	13,788,000	4,990,619	8,797,381
普及事業収益	19,000,000	105,300	18,894,700
文庫事業収益	1,700,000	353,790	1,346,210
カレンダー一収益	38,096,000	34,151,915	3,944,085
売店収益	12,600,000	5,100,290	7,499,710
受取補助金等	[2,849,000]	[3,206,000]	[△ 357,000]
受取国庫補助金	1,965,000	2,322,000	△ 357,000
受取地方公共団体補助金	884,000	884,000	0
受取寄付金	[213,868,000]	[249,046,285]	[△ 35,178,285]
受取寄付金	144,000,000	150,000,000	△ 6,000,000
受取寄付金振替額	69,868,000	99,046,285	△ 29,178,285
雑収	[70,000]	[369,092]	[△ 299,092]
受取利息	0	5,339	△ 5,339
雑収	70,000	363,753	△ 293,753
経常収益計	383,401,000	324,153,513	59,247,487
(2) 経常費用			
事業費	[365,059,000]	[296,496,854]	[68,562,146]
役員報酬	6,529,000	6,541,008	△ 12,008
給料	92,160,000	91,744,931	415,069
臨時雇賃金	20,205,000	9,168,382	11,036,618
退職給付費用	13,788,000	14,247,765	△ 459,765
福利厚生費	15,956,000	15,786,556	169,444
会議費	346,000	12,000	334,000
旅費	202,000	108,080	93,920
交通費	102,000	67,793	34,207
交通減価償却費	5,306,000	4,537,438	768,562
消耗什器備品費	70,497,000	69,665,774	831,226
消耗什器備品費	1,556,000	2,911,179	△ 1,355,179
消耗什器備品費	1,253,000	1,533,258	△ 280,258
修繕費	5,500,000	3,652,566	1,847,434
修費	5,349,000	5,019,569	329,431
印刷製本費	14,757,000	6,601,661	8,155,339
宣伝費	8,556,000	6,331,208	2,224,792
光熱費	7,290,000	6,257,667	1,032,333
保険料	896,000	848,016	47,984
諸謝金	150,000	150,991	△ 991
租税公課	6,020,000	3,417,500	2,602,500
庭園管理費	5,046,000	5,459,283	△ 413,283
委託費	13,475,000	12,795,863	679,137
展覧会費	18,990,000	3,064,160	15,925,840
催物費	15,456,000	1,238,451	14,217,549
調査研究費	7,980,000	4,561,426	3,418,574
雑費	1,119,000	751,868	367,132
カレンダー制作費	17,864,000	15,954,725	1,909,275

科 目	予算額	決算額	差 異
シ ョ ッ プ 原 価	8,711,000	4,067,736	4,643,264
管 理 費	[29,115,000]	[32,538,320]	[△ 3,423,320]
役 員 報 酬	4,352,000	4,360,672	△ 8,672
給 料 手 費	13,347,000	16,416,199	△ 3,069,199
退 職 給 付 費	1,532,000	2,435,801	△ 903,801
福 利 厚 生 費	2,641,000	2,698,872	△ 57,872
会 費	310,000	180,690	129,310
旅 費	398,000	1,864	396,136
交 際 通 費	210,000	247,657	△ 37,657
通 信 運 賃	338,000	115,890	222,110
減 価 償 却 費	3,712,000	4,024,193	△ 312,193
消 耗 什 器 備 品 費	53,000	0	53,000
消 耗 品 費	105,000	2,623	102,377
印 刷 製 本 費	64,000	0	64,000
光 熱 水 料 費	379,000	326,232	52,768
諸 謝 金 費	1,464,000	1,665,523	△ 201,523
雑 費	210,000	62,104	147,896
經常費用計	394,174,000	329,035,174	65,138,826
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 10,773,000	△ 4,881,661	△ 5,891,339
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 10,773,000	△ 4,881,661	△ 5,891,339
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
雑 収 益	[0]	[1,288,186]	[△ 1,288,186]
經常外収益計	0	1,288,186	△ 1,288,186
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	1,288,186	△ 1,288,186
当期一般正味財産増減額	△ 10,773,000	△ 3,593,475	△ 7,179,525
一般正味財産期首残高	981,301,603	981,301,603	0
一般正味財産期末残高	970,528,603	977,708,128	△ 7,179,525
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[6,000,000]	[10,000]	[5,990,000]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 69,868,000]	[△ 99,046,285]	[29,178,285]
受 取 寄 付 金	△ 69,868,000	△ 99,046,285	29,178,285
当期指定正味財産増減額	△ 63,868,000	△ 99,036,285	35,168,285
指定正味財産期首残高	3,732,449,190	3,732,449,190	0
指定正味財産期末残高	3,668,581,190	3,633,412,905	35,168,285
III 正味財産期末残高	4,639,109,793	4,611,121,033	27,988,760

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	公益事業会計				法人会計		合計
	美術館	文庫	公益共通事業	小計	法人		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	[0]	[0]	[6,725,790]	[6,725,790]	[0]	[6,725,790]	
基本財産受取利息	0	0	4,785,787	4,785,787	0	4,785,787	
基本財産受取配当	0	0	1,940,003	1,940,003	0	1,940,003	
公益事業収益	[64,452,656]	[353,790]	[0]	[64,806,346]	[0]	[64,806,346]	
展示事業収益	20,104,432	0	0	20,104,432	0	20,104,432	
調査研究事業収益	4,990,619	0	0	4,990,619	0	4,990,619	
普及事業収益	105,300	0	0	105,300	0	105,300	
文庫事業収益	0	353,790	0	353,790	0	353,790	
カレンダー一収益	34,151,915	0	0	34,151,915	0	34,151,915	
売店取益	5,100,290	0	0	5,100,290	0	5,100,290	
受取補助金等	[3,206,000]	[0]	[0]	[3,206,000]	[0]	[3,206,000]	
受取国庫補助金	2,322,000	0	0	2,322,000	0	2,322,000	
受取地方公共団体補助金	884,000	0	0	884,000	0	884,000	
受取寄附金	[62,141,657]	[3,452,314]	[151,000,000]	[216,593,971]	[32,452,314]	[249,046,285]	
受取寄付金	0	0	121,000,000	121,000,000	29,000,000	150,000,000	
受取寄付金振替額	62,141,657	3,452,314	30,000,000	95,593,971	3,452,314	99,046,285	
雑収利息	[119,418]	[2,488]	[5,339]	[127,245]	[241,847]	[369,092]	
受取利息	0	0	5,339	5,339	0	5,339	
雑収	119,418	2,488	0	121,906	241,847	363,753	
経常収益計	129,919,631	3,808,692	157,731,129	291,459,352	32,694,161	324,153,513	
(2) 経常費用							
事業費	[270,393,401]	[26,103,453]	[0]	[296,496,854]	[0]	[296,496,854]	
役員報酬	6,541,008	0	0	6,541,008	0	6,541,008	
給料	77,554,101	14,190,830	0	91,744,931	0	91,744,931	
臨時雇賃	9,168,382	0	0	9,168,382	0	9,168,382	
退職給付	11,545,027	2,702,738	0	14,247,765	0	14,247,765	
福利厚生費	12,791,917	2,994,639	0	15,786,556	0	15,786,556	
旅費	12,000	0	0	12,000	0	12,000	
交通費	107,284	796	0	108,080	0	108,080	
通信費	67,793	0	0	67,793	0	67,793	
減価償却費	4,474,218	63,220	0	4,537,438	0	4,537,438	
消耗什器備品	66,084,495	3,581,279	0	69,665,774	0	69,665,774	
修繕費	2,765,132	146,047	0	2,911,179	0	2,911,179	
印刷製本費	1,483,488	49,772	0	1,533,260	0	1,533,260	
広報伝熱水料	3,414,196	238,370	0	3,652,566	0	3,652,566	
印刷製本費	5,019,569	0	0	5,019,569	0	5,019,569	
広報伝熱水料	5,701,782	899,879	0	6,601,661	0	6,601,661	
広報伝熱水料	6,297,108	34,100	0	6,331,208	0	6,331,208	
広報伝熱水料	5,931,435	326,232	0	6,257,667	0	6,257,667	
諸謝金	848,016	0	0	848,016	0	848,016	
諸謝金	150,991	0	0	150,991	0	150,991	
租税公課	3,400,432	17,068	0	3,417,500	0	3,417,500	
庭園管理費	5,459,283	0	0	5,459,283	0	5,459,283	
委託費	12,795,863	0	0	12,795,863	0	12,795,863	
展覧物研究費	3,064,160	0	0	3,064,160	0	3,064,160	
調査研究費	1,238,451	0	0	1,238,451	0	1,238,451	
雑費	3,708,543	862,883	0	4,571,426	0	4,571,426	
雑費	746,268	5,800	0	751,868	0	751,868	
カレンダー制作費	15,954,725	0	0	15,954,725	0	15,954,725	
シヨッパ原料費	4,067,736	0	0	4,067,736	0	4,067,736	
役員報酬	0	0	0	0	4,360,672	4,360,672	
給料	0	0	0	0	16,416,199	16,416,199	
臨時雇賃	0	0	0	0	2,435,801	2,435,801	
退職給付	0	0	0	0	2,698,872	2,698,872	
福利厚生費	0	0	0	0	180,690	180,690	
旅費	0	0	0	0	1,864	1,864	
交通費	0	0	0	0	247,657	247,657	
通信費	0	0	0	0	115,890	115,890	
減価償却費	0	0	0	0	4,024,193	4,024,193	
消耗什器備品	0	0	0	0	2,623	2,623	
修繕費	0	0	0	0	326,232	326,232	
印刷製本費	0	0	0	0	1,665,523	1,665,523	
諸謝金	0	0	0	0	62,104	62,104	
雑費	0	0	0	0	0	0	
経常費用計	270,393,401	26,103,453	0	296,496,854	32,538,320	329,035,174	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 140,473,770	△ 22,294,861	157,731,129	△ 5,037,502	155,841	△ 4,881,661	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 140,473,770	△ 22,294,861	157,731,129	△ 5,037,502	155,841	△ 4,881,661	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
雑収	[1,288,186]	[0]	[0]	[1,288,186]	[0]	[1,288,186]	
経常外収益計	1,288,186	0	0	1,288,186	0	1,288,186	
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	1,288,186	0	0	1,288,186	0	1,288,186	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 139,185,584	△ 22,294,861	157,731,129	△ 3,749,316	155,841	△ 3,593,475	
当期一般正味財産増減額	△ 139,185,584	△ 22,294,861	157,731,129	△ 3,749,316	155,841	△ 3,593,475	
一般正味財産期首残高	△ 1,277,610,574	△ 44,786,116	2,313,656,260	991,259,560	△ 9,957,957	981,301,603	
一般正味財産期末残高	△ 1,416,796,158	△ 67,080,977	2,471,387,379	987,510,244	△ 9,802,116	977,708,128	
II 指定正味財産増減の部							
受取寄付金	[0]	[10,000]	[0]	[10,000]	[0]	[10,000]	
一般正味財産への振替額	[△ 62,141,657]	[△ 3,452,314]	[△ 30,000,000]	[△ 95,593,971]	[△ 3,452,314]	[△ 99,046,285]	
受取寄付金	△ 62,141,657	△ 3,452,314	△ 30,000,000	△ 95,593,971	△ 3,452,314	△ 99,046,285	
当期指定正味財産増減額	△ 62,141,657	△ 3,442,314	△ 30,000,000	△ 95,588,971	△ 3,452,314	△ 99,036,285	
指定正味財産期首残高	1,112,501,748	130,238,945	2,515,298,540	3,758,039,233	△ 25,590,043	3,732,449,190	
指定正味財産期末残高	1,050,360,091	126,796,631	2,485,298,540	3,662,456,262	△ 29,042,357	3,633,412,905	
III 正味財産期末残高	△ 366,436,067	59,715,654	4,956,685,919	4,649,965,506	△ 38,844,473	4,611,121,033	

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[6,725,790]	[10,279,893]	[△ 3,554,103]
公益事業収益	[64,806,346]	[103,841,325]	[△ 39,034,979]
受取補助金	[3,206,000]	[1,740,000]	[1,466,000]
受取寄付金	[249,046,285]	[212,875,626]	[36,170,659]
雑収	[369,092]	[188,580]	[180,512]
経常収益計	324,153,513	328,925,424	△ 4,771,911
(2) 経常費用			
事業費	[296,496,854]	[326,970,856]	[△ 30,474,002]
管理費	[32,538,320]	[26,588,400]	[5,949,920]
経常費用計	329,035,174	353,559,256	△ 24,524,082
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,881,661	△ 24,633,832	19,752,171
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,881,661	△ 24,633,832	19,752,171
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収	[1,288,186]	[0]	[1,288,186]
受取寄付金振替	[0]	[955,862]	[△ 955,862]
経常外収益計	1,288,186	955,862	332,324
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[0]	[955,863]	[△ 955,863]
経常外費用計	0	955,863	△ 955,863
当期経常外増減額	1,288,186	△ 1	1,288,187
当期一般正味財産増減額	△ 3,593,475	△ 24,633,833	21,040,358
一般正味財産期首残高	981,301,603	1,005,935,436	△ 24,633,833
一般正味財産期末残高	977,708,128	981,301,603	△ 3,593,475
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[10,000]	[3,941,876]	[△ 3,931,876]
一般正味財産への振替額	[△ 99,046,285]	[△ 69,988,364]	[△ 29,057,921]
当期指定正味財産増減額	△ 99,036,285	△ 66,046,488	△ 32,989,797
指定正味財産期首残高	3,732,449,190	3,798,495,678	△ 66,046,488
指定正味財産期末残高	3,633,412,905	3,732,449,190	△ 99,036,285
III 正味財産期末残高	4,611,121,033	4,713,750,793	△ 102,629,760

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

ただし、平成22年3月31日以前に取得した建物、什器備品は公益法人会計基準(平成20年4月11日 改正平成21年10月16日)適用の前事業年度末の帳簿価額を取得原価とみなし、残存耐用年数(新規に取得した場合の耐用年数から経過年数を控除した年数)による定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,222,137,846		69,046,285	1,153,091,561
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,139,435,206			1,139,435,206
古典籍	133,690,570	10,000		133,700,570
什器備品	1,568,002		588,000	980,002
投資有価証券	728,359,057			728,359,057
小計	4,365,876,249	10,000	69,634,285	4,296,251,964
(特定資産)				
積立預金	96,500,000		30,000,000	66,500,000
小計	96,500,000	0	30,000,000	66,500,000
合計	4,462,376,249	10,000	99,634,285	4,362,751,964

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,153,091,561	1,153,091,561		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,139,435,206	1,139,435,206		
古典籍	133,700,570	133,700,570		
什器備品	980,002		980,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,296,251,964	3,566,912,905	729,339,059	0
(特定資産)				
積立預金	66,500,000	66,500,000		
小計	66,500,000	66,500,000	0	0
合計	4,362,751,964	3,633,412,905	729,339,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,439,289,950	1,286,198,389	1,153,091,561
什器備品(基本財産)	42,126,653	41,146,651	980,002
什器備品(その他固定資産)	86,061,976	78,666,638	7,395,338
ソフトウェア	7,381,908	4,251,793	3,130,115
合計	2,574,860,487	1,410,263,471	1,164,597,016

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	1,864,596	1,879,103	14,507
投資有価証券	728,359,057	1,011,258,783	282,899,726
合計	730,223,653	1,013,137,886	282,914,233

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,799,059	4,230,625	3,799,059	0	4,230,625

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国宝重要文化財等 保存整理費補助金	文化庁	0	2,322,000	2,322,000	0	-
国宝重要文化財等 保存整理費補助金	東京都	0	884,000	884,000	0	-
合計		0	3,206,000	3,206,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	69,046,285
積立預金取崩による振替額	30,000,000
合計	99,046,285

9. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

令和3年5月18日

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和2年度における公益財団法人五島美術館の業務執行状況および会計帳簿並びにこれに関する資料につき監査いたしました。

その結果、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその附属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財産状態を正しく表示していると認めます。

また事業報告の内容は真実であると認めます。

その他、理事の職務状況に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認めます。

公益財団法人 五島美術館

監 事 畔柳信雄 

監 事 島本武彦 